

はじめに…

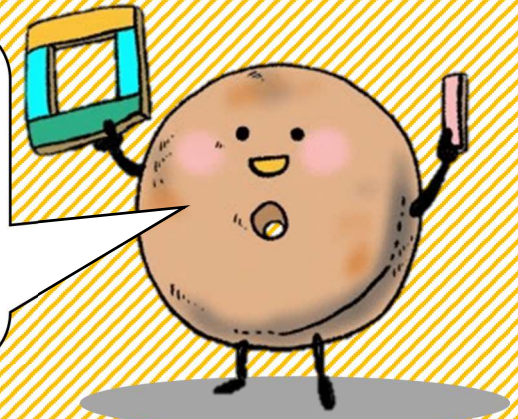
はじめまして！ ボクは紡錘車^{ぼうすいしゃ}くんです。

みんな、ボクのこと知ってるかい？

え、おいしそう？

ちが^{ちが}ぬの^{ぬの}ひつよう^{ひつよう}
違うよ、布をつくるのに必要なものなんだ。

きょう^{きょう}いっしょ^{いっしょ}こだい^{こだい}ぬの^{ぬの}たいけん^{たいけん}
今日は一緒に古代の布づくりを体験してみよう！



じっさい^{じっさい} ぼうすいしゃ^{ぼうすいしゃ}
↑ 実際の紡錘車

ぼうすいしゃ^{ぼうすいしゃ} ちゅうおう^{ちゅうおう} あな^{あな} さ^さ ぼう^{ぼう} かいてん^{かいてん} おも^{おも}
紡錘車とは、中央の穴に挿した棒を回転させるための重りで、

ぼう^{ぼう} ま^ま つ^つ せんい^{せんい} いと^{いと} どうぐ^{どうぐ}
棒に巻き付けた繊維をねじって糸をつくる道具です。

こだい^{こだい} ひとびと^{ひとびと} いと^{いと} げんしてき^{げんしてき} はたお^{はたお} く^く
古代の人々はこのようにして糸をつむぎ、原始的な機織り具を

つか^{つか} いっぽんいっぽんい^{いっぽんいっぽんい} とお^{とお} めの^{めの}
使って一本一本糸を通し、布をつくりました。



ふくおか^{ふくおか} かい^{かい} さい^{さい} ぼうすいしゃ^{ぼうすいしゃ} はたお^{はたお} く^く ぶひん^{ぶひん}
福岡市内のさまざまな遺跡からは、紡錘車や機織り具の部品が

しゅつど^{しゅつど} はくぶつかん^{はくぶつかん} じょうせつてんじしつ^{じょうせつてんじしつ} み^み
出土しており、博物館の常設展示室でも見ることができます。



いと^{いと} 糸づくりのイメージ図 ↑

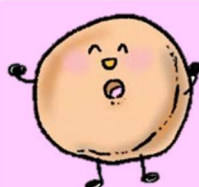


げんしてき^{げんしてき} はたお^{はたお} ず^ず
原始的な機織りのイメージ図 ↑

※資料によっては、「緯越具」や「貫」と書かれていることもあります。



やく^{やく} ねんまえ^{ねんまえ} ぼうすいしゃ^{ぼうすいしゃ} はたお^{はたお} く^く ひ^ひ じょうせつてんじしつ^{じょうせつてんじしつ}
↑ 約2500年前の紡錘車と機織り具「杼」(常設展示室)



ここまで見てくれてありがとう！

つぎ^{つぎ} めの^{めの} たいけん^{たいけん} つか^{つか}
次は、布づくりの体験キットを使って

こだい^{こだい} めの^{めの}
古代の布づくりにチャレンジしてみよう！